

令和 7 年度第 1 回
東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会
資料評価部会（典籍・文書部会）

令和 7 年10月 9 日（木）
東京都江戸東京博物館会議室

午後 3 時 25 分開会

大石文化施設担当統括課長代理：では、皆様おそろいでございますので、少し早いですが、始めさせていただきますと思います。

本日はお忙しい中御出席いただきまして、ありがとうございます。ただいまから令和 7 年度第 1 回東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会資料評価部会（典籍・文書部会）を開催いたします。私は、東京都生活文化局文化振興部文化施設担当の課長代理、大石と申します。本日司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

資料収蔵委員会には収集部会と評価部会がございます。収集部会は、江戸東京博物館の収蔵品としてふさわしいか否かを付議する部会、また、評価部会は、江戸東京博物館の収蔵品としての価格を個別の委員の方々に評価いただく部会でございます。本日の評価部会に先立ち、10 月 3 日に収集部会を開催いたしまして、当部会でお諮りする案件につきましては、当館へ収蔵することが適切であるという御意見をいただいております。

本日は、都民の財産となる貴重な資料にふさわしい適正な価格評価をよろしくお願いいたします。

次に、本日御出席いただいた委員の皆様を御紹介いたします。向かって左の席から順に御紹介させていただきます。

神田委員でございます。

小林委員でございます。

滝口委員でございます。

播本委員でございます。

なお、高山委員は、事前に御欠席の旨、御連絡をいただいております。

続きまして、事務局職員を紹介いたします。

江戸東京博物館副館長の猪俣でございます。

事業企画課長の新田でございます。

次に、お手元の資料の御確認をお願いいたします。一番上にございますのが「会議次第」、「委員名簿」、「江戸東京博物館収蔵委員会設置要綱」、「令和 7 年度第 1 回資料収蔵委員会（資料評価部会 典籍・文書部会）説明資料」、「令和 7 年度第 1 回資料収蔵委員会資料（資料評価部会 典籍・文書部会）」、こちらは A3 の資料になります。最後に「令和 7 年度第 1 回資料収蔵委員会評価票」になります。こちらも A3 の資料になります。

以上をお配りしております。よろしいでしょうか。また、お手元の資料については現時点で未公開の情報がございますので、会議終了後、回収させていただきます。

それでは、これから議事に入る前に、当部会の公開について確認させていただきます。本日の議事は評価対象資料の価格評価に関するものですので、「東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会設置要綱」第 11 に基づき、非公開といたします。

なお、当部会の議事録については、資料収集決定後、委員の皆様の個別の価格評価を除き公開を予定しております。公開に当たって、委員の皆様には追って内容の確認をさせて

いただきます。また、委員の皆様のお名前と現職名は東京都のホームページ上にて公開しております。

それでは、議事に入りたいと思います。江戸東京博物館事業企画課長の新田より、本日は皆様に評価いただく資料の説明をいたします。よろしくお願いします。

新田事業企画課長：それでは、今回御評価いただく資料について御説明を申し上げます。
A4 1枚の「令和7年度第1回資料収蔵委員会（資料評価部会 典籍・文書部会）説明資料」を御覧ください。

資料は『殿村篠齋宛曲亭馬琴書簡』でございます。曲亭馬琴が伊勢松坂の友人、殿村篠齋に宛てた新出の書簡でございます。馬琴は書簡に長々と言葉を連ねることで知られますが、本資料においても、全長9メートル64センチに及ぶ紙に身辺や著述・読書など多岐にわたる事柄を連綿と書きつづります。篠齋の姪の婚姻を祝い、名筆の手配への礼、馬琴の随筆「玄同放言」2編に関する篠齋の批評への感謝と反論、水光滸伝の抄録をつくること、松前道広かと思われる人物へ馬琴が奉じた歌について篠齋の批評に対する反論、馬琴の読本「巡島記」に関する篠齋の批評への感謝、「南総里見八犬伝」5編の出版が滞っていることへの嘆き、新井白石の著作群を校合していること、子孫に残す家譜を作成すること、八百善が出した「料理通」の挿し絵に関する感想、5月にあったイギリス船来航のこと、そのほか時候や篠齋の弟櫟亭琴魚の縁談が破談になったことへの慰めを述べて締めくくります。

冒頭に「七月廿二日」とありますが、内容から文政5年に書かれたと推測されます。馬金の書状は複数現存しており、中には文政5年閏正月に同じく篠齋へ宛てた書状が残っております。2通で同じ話題に触れており、出来事の流れをたどれる部分もございます。現存する資料に本資料が加わることで、馬琴の執筆活動ぶりや人柄がさらにつまびらかになると期待できます。馬琴研究に資するとともに、常設展示「出版と情報」や特別展においても広く活用が見込める好資料でございます。

付議案件についての御説明は以上でございます。

大石文化施設担当統括課長代理：以上、御質問、御意見はございますでしょうか。

では、続いて評価方法について説明させていただきます。評価票に金額を記載し、署名していただきます。評価額の最高価格と最低価格を除いた残りの価格の平均値を委員会としての評価額とします。何か御質問、御意見はございますでしょうか。

それでは、これから資料の実見をお願いしたいと思います。係の者が御案内いたしますので、移動をお願いいたします。また、資料に関する個別の御質問につきましては、学芸員へお尋ねください。お願いいたします。

（委員離席）

（資料実見）

（委員着席）

大石文化施設担当統括課長代理：それでは、議事のほうを再開させていただきます。資料を御覧になりまして、何か御意見、御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

御質問等ございませんようでしたら、お手元の評価票に価格評価と御署名をお願いいたします。お手元のペンで御記入いただきますようお願いいたします。金額は消費税込みとなります。

(評価票記入)

大石文化施設担当統括課長代理：御記入がお済みになりました方は、係の者が確認いたしますので、お声がけください。確認が終わりましたら、御退席いただいて結構です。

本日はありがとうございました。

午後 4 時32分閉会

以上